

令和7年度 教科研修会Ⅰに向けた授業の構想

国語科

1 国語科の研究テーマ

聞き出した相手の思いや価値観を基に、
自分の考えを形成する力を高める学習の在り方

2 国語科として育成を目指す資質・能力の受け止め（研究テーマに示す力が高まっている生徒の具体の姿）

- ・話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている姿（3年生段階）
- ・論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えを比較しながら、自分の考えをまとめている姿（2年生段階）
- ・必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている姿（1年生段階）

3 単元名・学年

「筆者の書き方のよさを説明しよう—『クマゼミ増加の原因を探る』」・2年

4 単元の概要（全5時間扱い 本時は第3時）

単元の学習問題

沼田さんの文章の書き方のよさを説明しよう。

単元展開

時間	学習活動
第1時	◆単元の学習の見通しをもつ ・本文を範読した後、1年生の時に学習した説明文「ダイコンは大きな根」と「クマゼミ増加の原因を探る」の本文を比較して、説明的な文章と報告文の違いについて全体で確認する。 ・論理の展開や図表の使い方の違いから、「クマゼミ増加の原因を探る」ならではの書き方の特徴があることを確認し、単元の学習問題「沼田さんの文章の書き方のよさを説明しよう。」を設定し、自分の考えを記述する。
第2時	◆本文にある6つの部分の内容を整理する ・小見出しに着目して、6つの部分にはどのようなことが書かれているのかを学習カードにまとめる。 ・論理の展開について、現時点での自分の考えや疑問を記述する。
第3時 (本時)	※本時案参照
第4時	◆図表の効果について考える ・文章と図表の関連に着目し、何を伝えるためにその図表が示されているのか考え、内容を捉える。 ・図表を示す目的に着目して図表を分類し、それぞれの効果について自分の考えをもつ。 ・図表の効果について、学習カードに自分の考えを記述する。
第5時	◆単元の学習を振り返り、単元の学習問題に対する自分の考えをまとめる ・単元の学習を振り返り、「クマゼミ増加の原因を探る」から分かる論理の展開と図表の使い方のよさについてまとめる。 ・単元の学習問題に対する自分の考えを記述する。

国語科学習指導案

令和7年5月14日（水）5校時 2年B組教室

授業学級 2年B組（40名）

授業者 矢島 幸太郎

1 単元名 「筆者の書き方のよさを説明しよう—『クマゼミ増加の原因を探る』」

2 主眼 ※【 】内は、中学校学習指導要領との関連を指している

筆者が結果的に否定された仮説1を示した理由を考える場面で、仮説1の内容とその他の部分とのつながりに着目して、仮説1の役割を話し合うことを通して、仮説1がある理由について自分の考えを記述することができる。 【C(1)エ】

3 単元の学習問題：沼田さんの文章の書き方のよさを説明しよう。

4 本時の位置（全5時間中 第3時）

前時：本文にある6つの部分それぞれの内容について整理した。

次時：図表の効果について、図表を分類しながら考える。

5 展開

段階	活動	予想される生徒の反応	教師の指導・助言 評価	時間
導入	1. 学習問題を設定し、見通しを基に学習課題を据える。	ア 3つ目の仮説で、クマゼミ増加の原因が明らかになった。仮説2は一因として必要そうだけれど、結果が否定された仮説1は、なぜ示す必要があったのだろうか。 学習問題：沼田さんはなぜ結果的に否定された仮説を示したのだろうか。 イ 沼田さんの文章は、仮説1があるから仮説2へ話を進めることができた。仮説1とその前後にある他の部分とのつながりに注目するとよさそうだ。 学習課題：仮説1の内容とその他の部分とのつながりに着目して、仮説1の役割を話し合おう。	・前時の振り返りから、アのような考えをもつ生徒を指名し、全体で共有して、学習問題を設定する。 ・イのように、仮説1と他の部分とのつながりに着目している生徒の考えを取り上げて、学習課題を据える。	10分
展開	2. 個人で追究する。 3. 追究した内容を全体で共有する。	ウ 仮説1があることで、冬の寒さの緩和が関係ないことが分かり、別の原因を探すために、次の仮説2を立てることができた。 エ 「前提」では、「①の卵は野外で冬を越すため、厳しい寒さに耐える必要がある。」とあり、卵と気温の関係について述べている部分が仮説1とつながっているのではないか。それでも、否定された仮説を示す理由はうまく説明できない。友はどのように考えたのだろうか。 オ Aさんは、「仮説1の検証の結果、クマゼミの卵は寒さに強いことが分かり、気温上昇がクマゼミ増加の原因でないことが明らかになった。卵の段階から仮説2や3の孵化の時期の検証に進むことができたので、仮説1は前提と他の仮説をつなぐ大切な役割がある。」と言っていて、仮説1が必要な理由が分かった。他につながっているところはないのだろうか。 カ Bさんは、前提をもとに、クマゼミの成長に沿って実験していくことで読み手が納得できるようにしていいと言っていた。仮説1は、前提や、仮説2や3ともつながりがあることが見えてきた。それぞれの部分が結論を導き出すために、役割をもっていることが分かった。	・前時にまとめた学習カードから、それぞれの部分の内容を確認し、つながる部分を読み取るように促す。 ・追究が進まない生徒には、前後の部分である前提や仮説2の内容を確認し、仮説1とつながる部分はどこか問い掛ける。 ・エのような反応から、全体で共有する場を設ける。 ・仮説1の内容と他の部分とのつながりや役割を視覚的に理解できるように、端的な言葉で板書して示す。 ・仮説1の内容と、その他五つの部分の内容とのつながりはないか問い掛ける。 ・仮説1とその他の部分とのつながりを見いだしているオのような生徒の考えを取り上げ、全体で共有する。 ・カのような意見から、仮説1の内容とその他の五つの部分の内容にはつながりがあることと、仮説1の役割について全体で確認する。	10分 20分
終末	4. 本時の学習のまとめをする。	キ 仮説1があることで、前提から導き出される可能性が一つ排除され、その分原因を絞り込むことができ、次の仮説につながる。それは、沼田さんの意見を表した「科学的な根拠を一步一步積み上げて臨む姿勢が大切である」というまとめの文につながるから、仮説1があると考えた。	・学習問題に対する自分の考えを学習カードにまとめるように促す。 仮説1がある理由について自分の考えを記述している。（学習カード）	10分